

As of 2021年 6月 1日

本社住所	〒226-8510 神奈川県横浜市緑区長津田町4259-3 東工大横浜ベンチャープラザW402					
代表者	太田 啓之	設立	2021年4月	資本金	5,000	千円
経営理念	私たちは植物や藻類に含まれる天然の脂質や脂質由来の化合物を最先端の技術を用いて活用し地球上の二酸化炭素の削減やカーボンリサイクルの取り組みに貢献します。					
業種分野	植物・藻類の脂質に関する研究開発					
連絡先	<a href="mailto:info@phytolipidtech.co.jp">info@phytolipidtech.co.jp</a>	HPアドレス等	<a href="https://phytolipidtech.co.jp/">https://phytolipidtech.co.jp/</a>			

### 事業内容のご紹介

植物・藻類の脂質に関する研究受託

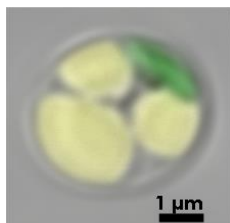
植物・藻類の脂質に関するコンサルティング

### PRポイント

植物や藻類に含まれる脂質成分は、それらの光合成によって得られる主要な産物のうち、最も多様な形で利用が行われている有用成分です。海や湖に暮らす藻類にはまだまだ未活用の資源が多く含まれており、中でも脂質は多くの藻類の中に最も多量に含まれ、その種類も植物同様、あるいはそれ以上に多様です。近年注目されている魚に含まれるEPAやDHAなどの $\omega$ 3脂肪酸は、実は魚自身ではなく、水の中での食物連鎖の起点となっている藻類が作ったものなのです。

植物や藻類に含まれる脂質はバイオ燃料の原材料にもなることから、近年世界的に関心が高まっているサステナブルな社会実現の観点からも将来的に極めて高い発展性を有している分野です。

### 製品・サービスイメージ



- ・ 植物・藻類の脂質に関する研究開発業務の受託
- ・ 植物・藻類の脂質に関する受託分析
- ・ 優良株の分子育種
- ・ 植物・藻類の脂質に含まれる有用成分の製造

### 代表者メッセージ

当社は、これまでの経験を最大限に活かし、植物や藻類に含まれる脂質類を有用利用する新しい道を拓き、その活用を進めることを目標としています。植物や藻類が行う光合成の主要な産物である脂質成分の有効利用は、光合成を行うそれら自身の栽培や培養のニーズを加速させ、大気中の二酸化炭素の削減につながり、一方では私たち生命に欠かせない貴重な酸素を大気中に提供してくれます。

ファイトリピッド・テクノロジーズは、このような形で植物や藻類に含まれる脂質成分の有効利用を進め、地球の温暖化防止や環境維持に貢献します。